

『畜産（実技）』シラバス

科 目 名	学 科	学 年	必修 / 選択	単 位 数
畜産（実技）	畜産科	2年	必修	6（2）単位

1．科目目標と使用教材

科目目標	家畜の飼育管理における基礎的・基本的な技術を、体験的な学習を通して身につけましょう。また、飼育環境や病気の予防・農業機械の利用など多様な題材について体験的に学ぶことにより実践力を高めていきましょう。
使用教材	教科書：畜産（実教出版）

2．学習計画

学期	学 習 項 目	学 習 目 標
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・牛の繁殖生理（直腸検査の実際） ・家畜の個体表示（耳標の装着） ・畜舎の消毒 ・家畜の審査 	<ul style="list-style-type: none"> ・直腸検査技術の意義を理解し、その技術をマスターしましょう。 ・個体表示の意義を理解し、耳標の装着ができるようになりましょう。 ・消毒の効果について理解し、消毒液等の調製ができるようになりましょう。 ・家畜の審査基準を理解し、適正な審査ができるようになりましょう。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・牛の繁殖生理（直腸検査の実際） ・農業機械の操作 ・除角と去勢 ・牛の繁殖生理（直腸検査の実際） 	<ul style="list-style-type: none"> ・直腸検査技術の意義を理解し、その技術をマスターしましょう。 ・作業機の操作をマスターしましょう。 ・除角と去勢の目的を理解し、正しく除角・去勢ができるようになりましょう。 ・直腸検査技術の意義を理解し、その技術をマスターしましょう。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・牛の繁殖生理（直腸検査の実際） ・和牛の血統 ・牛の繁殖生理（直腸検査の実際） 	<ul style="list-style-type: none"> ・直腸検査技術の意義を理解し、その技術をマスターしましょう。 ・和牛の改良や系統について理解しましょう。 ・直腸検査技術の意義を理解し、その技術をマスターしましょう。

3. 学習方法

乳牛を教材として実技を行っていきます。生きた教材で学習できるので実技実習には主体的に取り組み座学授業の内容について理解度を深めます。

4. 評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 家畜の飼育技術に興味・関心を持ち、実践学習に意欲的に取り組む姿勢が見られるか。 家畜の飼育環境や飼育に関連する多様な技術に興味・関心を持っているか。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 飼育技術の意義を考え、適正な管理時期の判断ができるか。 消毒の意義を考え、適正な消毒方法を選択できるか。 作業内容に応じた機械選定と操作ができるか。 家畜の改良と血統の関連性について適正に判断できるか。
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> 直腸検査技術を適正に実践できているか。 様々な消毒薬の希釈ができるか。 飼育管理技術を要領よく実践できるか。 系統に応じた牛の血統を示すことができるか。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 家畜の飼育管理技術に関する基礎的・基本的な知識を理解できるか。 家畜の飼育環境や飼育に関連する多様な技術の知識が理解できているか。 畜産経営に必要な知識と技術が身に付いているか。 授業及び定期考査の質問事項に答えられるか。

5. 成績評価

1・2学期	中間	<table border="1"> <tr> <td>定期考査 (素点)</td> <td colspan="4">平 常 点</td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </table>	定期考査 (素点)	平 常 点				100%	%	%	%	%
	定期考査 (素点)	平 常 点										
100%	%	%	%	%								
期末	<table border="1"> <tr> <td>定期考査 (素点)</td> <td colspan="4">平 常 点</td> </tr> <tr> <td>70%</td> <td>提出物 10%</td> <td>態 度 20%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </table>	定期考査 (素点)	平 常 点				70%	提出物 10%	態 度 20%	%	%	
定期考査 (素点)	平 常 点											
70%	提出物 10%	態 度 20%	%	%								
3学期	学年末	<table border="1"> <tr> <td>定期考査 (素点)</td> <td colspan="4">平 常 点</td> </tr> <tr> <td>70%</td> <td>提出物 10%</td> <td>態 度 20%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </table>	定期考査 (素点)	平 常 点				70%	提出物 10%	態 度 20%	%	%
定期考査 (素点)	平 常 点											
70%	提出物 10%	態 度 20%	%	%								

6. 生徒の皆さんへ

授業は牧場において実施し、各専門科目で学習する内容を実践学習を通して体験的に学びます。農業高校で実施される総合実習の内容と重なる面もありますが、通常なかなかできない項目を主に実施します。特に、牛の人工授精技術には欠かせない直腸検査を中心に実施し、学年の終わりには生殖器（卵巣や子宮）を自分の手で触れることができるまでにマスタ - します。